



## アジア連帯委員会（CSA）ホームページで振り返る 2020年9月～2021年9月事業と活動ダイジェスト

### ▶ 目 次

2020.09.30	▶▶	第40回定期総会を開催	2
2020.10.12	▶▶	日本在住ベトナム人協会と情報交換	3
2020.11.04	▶▶	連合・CSA役員の産別本部へ、 会長・事務局長表敬訪問	4
2020.12.04	▶▶	ラオス保健省から救援衣類要請の公式文書が届きました	5
2021.01.05	▶▶	CSAレポート第60号・新年号を発刊しました	5
2021.02.01	▶▶	ラオス・サンティパープ高校生寮の 水回り緊急リフォーム工事をを行います	6
2021.03.25	▶▶	第42回常任理事会、第21回評議員会を開催しました	7
2021.04.18	▶▶	「ベトナム建国記念日祝賀交流会」に出席	8
2021.05.21	▶▶	ラオス・パチャオ村小学校 校門・フェンス設置着工	9
2021.06.21	▶▶	救援衣類支援 集荷日程再延期についての詳細	10
2021.07.02	▶▶	サンティパープ高校生寮へ卒業記念品とマスクを寄贈	11
2021.07.19	▶▶	パチャオ村小学校 フェンス設置工事現地レポート届く	12
2021.08.02	▶▶	サンティパープ高校生寮の 水回りリフォーム工事が完了しました	13
2021.09.03	▶▶	日本在住ベトナム人協会と在日カンボジアコミュニティへ 不織布マスクを寄贈	14



## 2020.09.30 第40回定期総会を開催



▶ 澤田会長代表挨拶



▶ 連合 逢見会長代行 来賓ご挨拶



▶ 鈴木事務局長の報告・提案

9月30日(水)、アジア連帯委員会は連合会館で、役員、代議員、傍聴者73名が出席し、第40回定期総会を開催しました。

今年の総会は、新型コロナウイルス感染対策に万全を期し、三密の回避や総会時間の短縮等の対策を講じた上で行いました。

総会は、和田常任理事が司会を務め、基幹労連の杉原代議員が議長に選出され、杉原議長により議事が進められました。冒頭、澤田会長がアジア連帯委員会(CSA)代表挨拶をした後、来賓としてご臨席された連合の逢見会長代行から挨拶を受けました。

その後、鈴木事務局長が2019年度事業報告及び2019年度年度会計報告を行い、堀監事が同監査報告を行い、承認されました。

引き続き、協議事項に入り、鈴木事務局長より、2020年度事業計画、2020年度予算を提案し決定された後、大澤常任理事が役員の変更について提案し、満場の拍手で確認されました。引き続き、澤田会長が顧問の委嘱について提案し、確認されました。

最後に杉原議長が降壇挨拶、和田常任理事が閉会挨拶し、今年の総会は、短時間の開催でしたが、成功裏に終了しました。



## 2020.10.12 日本在住ベトナム人協会と情報交換



▶ 南海会長代行と鈴木事務局長



▶ 和やかに情報交換

10月12日（月）、アジア連帯委員会は、日本在住ベトナム人協会と新年度の事業等に関する情報交換を行いました。

日本在住ベトナム人協会から南海会長代行の来訪を受け、鈴木事務局長は、9月30日開催のCSA第40回定期総会における代議員対応への謝意を伝えました。その後CSA、日本在住ベトナム人協会のコロナ渦での活動等について双方から現在の情報交換を行いました。

南海会長代行は、「日本に現在40万人のベトナム人居住者がいます。1980年代のインドシナ難民で日本に永住した人や、最近日本の研修生、実習生として現在日本で暮らしている人々も多くいます。新型コロナウイルスの影響で職を失い生活に困っている人が急増しています」等、喫緊の課題が山積している状況を受けました。一方でコロナとの闘いは中長期的課題でもあるので、しっかり着実に対応していきたくと力強く語りました。

鈴木事務局長は、日本在住ベトナム人協会とはCSAの前身から連携しており、このような時だからこそ、より一層連携を強化していきましようとお応えしました。





## 2020.11.04 連合・CSA役員の産別本部へ、会長・事務局長表敬訪問

澤田会長、鈴木事務局長は、第40回定期総会において選出された役員の方々が所属する連合・産別本部を表敬訪問し、CSAへの支援に対するお礼と意見交換を行いました。

本年の表敬訪問は、CSAが来年設立40周年を迎えるにあたり、常任理事を構成する産別代表の方々と直接お会いして、昨年の主要事業報告と、今後の事業のあり方等について意見交換を目的に行いました。



左/鈴木事務局長 中央/相原連合事務局長  
右/澤田会長

2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、「第37次救援衣類を送る運動」、「2021 ワーキング・スタディ・ツアー」が延期せざるを得ない状況となる等、CSAの事業も大きな変更を余儀なくされました。

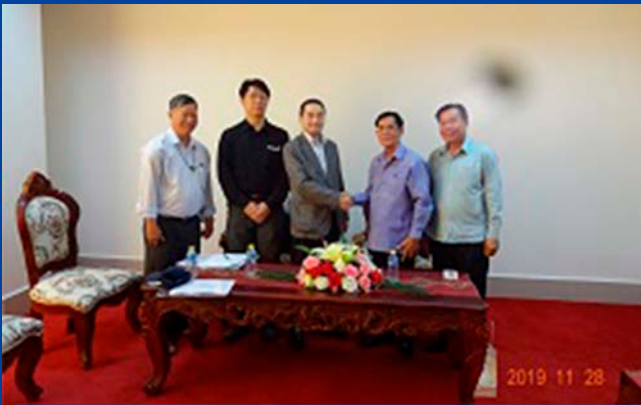
CSAは総会で確認された今後の事業計画に基づき、ラオスへの小学校建設事業等、永年に亘り継続している主要事業の推進や、サンティパープ高校生寮のコロナ対策等、新たな支援を行うことについて、各組織のトップに直接伝えるとともに、一層の連携の強化を確認しました。

### CSA役員の産別本部へ、会長・事務局長表敬訪問

訪問日	組織名	お会いした方々
10月14日	情報労連	野田中央執行委員長
10月14日	自動車総連	高倉会長、金子事務局長
10月19日	連合本部	相原事務局長
10月20日	連合東京	杉浦会長
10月22日	基幹労連	神田中央執行委員長、津村事務局長
10月22日	自治労	鬼木書記長
10月23日	UAゼンセン	松浦会長、古川書記長
10月23日	電力総連	坂田会長、河野事務局長
10月28日	日教組	清水中央執行委員長
10月30日	JAM	中井書記長
10月30日	電機連合	神保中央執行委員長



## 2020.12.04 ラオス保健省から救援衣類要請の公式文書が届きました



昨年11月26日現地で輸送協議合意の場面  
ラオス公式文書発信者は保健省トップのナオブッタ氏（右二人目）



ラオス山間部で救援衣類に喜ぶ人々

第37次救援衣類を送る運動は、新型コロナウイルス感染拡大により集荷日程を延期しておりますが、このほどラオス保健省からCSAに救援衣類を要請する旨の公式文書が届きました。

公式文書の骨子は、①ラオス保健省として、ラオスの困窮している人々になりかわって救援衣類（中古衣類）の支援をお願いしたい、②救援衣類はラオスの47の貧しい地域に配布します、さらに自然災害の被災者にも配布します、③この機会に改めてCSAに感謝と敬意を表します。

CSAはラオスからこのような文書が届き、またタイ社会開発福祉省からもすでに支援要請文書が届いていることから、2021年10月上旬の集荷に向けて諸準備を進めています。

## 2021.01.05 CSAレポート第60号・新年号を発刊しました

新年あけましておめでとうございます。

平素はアジア連帯委員会（CSA）の諸事業にご支援を賜り、心より感謝申しあげます。

新しい一年の幕開けに際し、CSAレポート第60号を作成しましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染により、事業の延期をせざるを得なくなる等、一部予定の変更を余儀なくされる事となりましたが、本年はタイ・ラオス・ベトナムを中心に支援者の皆様とともに、出来る最大の支援を継続したいと思います。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。



## 2021.02.01 ラオス・サンティパープ高校生寮の水回り緊急リフォーム工事をを行います



▶ 1月14日現地打合せ（右は校長先生、サンティパープ高校於）



▶ 昨年1月に訪問した時の寮生達（寮をバックに集合写真）

アジア連帯委員会（CSA）は、2002年からラオス北部のルアンプラバン市内にあるラオス国内でも優秀高のサンティパープ高校に学生寮を建設し、90名の寮生の生活支援を行っています。卒寮生はほぼ全員が進学し、ラオスの発展に尽くすべく勉強に励んでいます。

この高校がある町は市街地自体世界遺産に登録されていることもあり、昨年日本の環境省によるアジア水環境改善モデル事業の一環で調査が行われました。その状況報告がCSAに入り、この事業に参加する日本企業のラオス駐在員の方とCSAの現地コーディネーターとWEBで連絡をとりながら準備を進めてまいりました。

去る1月14日校長先生を交えて実務担当者の打合せが行われ、その報告の結果（トイレの7割以上故障中）を踏まえ、今年度の事業としてサンティパープ高校生寮の水回り緊急工事をを行います。





## 2021.03.25 第42回常任理事会、第21回評議員会を開催しました



▶ 開会あいさつ 澤田会長



▶ 評議員会風景

3月25日(木)、第42回常任理事会、第21回評議員会を联合会館内会議室で開催しました。今回の会議は、緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルスの感染防止対策を引き続き徹底し、三密回避対策と開催時間を短縮して行いました。

コロナ禍の開催となりましたが、常任理事会は1名の代理出席を含め全理事が出席し、その後の第20回評議員会には40名の評議員が出席しました。澤田会長から開会挨拶と評議員会の成立を確認した上で、その後、報告事項、協議事項について審議しました。

鈴木事務局長から報告事項を一括して説明し、確認されました。続いて議案①37次救援衣類を送る事業の10月実施、②ラオス小学校建設・補修事業の実施、③サンティパープ高校生寮修理の実施、④第40回定期総会について提案し、提案どおり決定されました。

今回の評議員会で改めて37次救援衣類を送る運動は、本年10月5日～9日集荷日程と、集荷場所は前回同様の東京・新木場「セイノー通関東京海運倉庫」を決定しました。

また、衣類1箱につき、輸送募金(1,000円～)を一体化とすることと、送ることのできる衣類が限定されることを確認しました。詳細につきましては7月に別途ご案内致します。お問い合わせは、CSA事務局メール [info@ngo-csa.jp](mailto:info@ngo-csa.jp) へお願い致します。



## 2021.04.18 「ベトナム建国記念日祝賀交流会」に出席



▶ 来賓あいさつ鈴木事務局長



▶ 会場

4月18日（日）、大田区六号地域力推進センターにて、日本在住ベトナム人協会主催の「ベトナム建国記念祝日祝賀交流会」が開催されました。この祝賀会は例年4月に開催されており、ベトナム建国記念日に難民救援団体やこれまでにお世話になった方々に対して感謝の意を表するとともに、日本在住のベトナム人同志の定期交流会として開催されるのです。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の為中止となりましたが、今年は感染防止対策を行うとともに、開催時間と内容に工夫を凝らし①ベトナム伝統の先祖礼拝式②来賓あいさつ③「祖国を想い、国土を守る」ディスカッション④活動報告と計画等の内容で行われました。

CSAは毎年この会に招待されており、来賓として招かれた鈴木事務局長は「昨年は本来であれば、東京オリンピックが開催され輝かしい年になるはずでしたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、日本はオリンピックも延期となり、コロナ禍により日本人の生活も一変してしまいました。日本在住のベトナム人の方々も大変なご労苦がさまざまな場面で発生していると思います。このようなときだからこそ在日ベトナム人協会が果たす役割は重要ですから、CSAも支援団体とともに一層連携を強化してまいります」と挨拶しました。





## 2021.05.21 ラオス・パチャオ村小学校 校門・フェンス設置着工



▶パチャオ村小学校全景



▶校門（サンプル）



▶校門フェンス（サンプル）

ラオス・パチャオ村小学校は、UAゼンセンカネボウ労働組合寄贈校・CSA23番目校としてラオス北部の山間部に2011年建設されました。

2019年5月、カネボウ労働組合を代表して津守さん、堀さん、CSAから鈴木事務局長が校舎の点検と情報交換等を目的に訪問しました。その際、校長先生から、「小学校に通える生徒が年々増えて、村人たちも大変喜んでいきます。また、校庭の囲いがないので、人や動物の往来もあるので校門とフェンスを造ってほしい」等の要請を受けました。

帰国後、この要請についてCSAのラオスコーディネーターを通じて、建築費の見積りや、完成事例写真等を入手するなどして協議をすすめ、カネボウ労働組合・CSAの共同プロジェクトで工事の実施を決定しました。ラオスもコロナ禍にあり工期に通常より時間を要することも想定されますが、着工に向けて準備を開始しました。



## 2021.06.21 救援衣類支援 集荷日程再延期についての詳細



▶ ラオスへの衣類寄贈式 2020年1月29日



▶ タイへの衣類寄贈式 2020年1月31日

### CSA「第37次救援衣類を送る運動」集荷日程再延期について

#### 1. 再延期をせざるを得ない理由と現状

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、2020年夏以降海上輸送の前提となる、貨物船とコンテナの不足が顕著となり、現在世界中でその争奪戦が続いています。

CSAは本年3月25日開催の評議員会の確認に基づき、救援衣類をタイ・ラオスへ10月に輸送する諸準備をすすめてまいりました。

一方、2021年4月、5月に入りコンテナの逼迫状況はさらに厳しさを増し、海上輸送費も暴騰しています。

国土交通省は日本発着の国際海上コンテナ輸送の需給の逼迫状況の改善に向け、荷主・船社・物流事業者に対し、コンテナの効率的な利用や輸送スペースの確保について協力要請文を発出するなどしました。

しかし、現下の状況は専門機関の予測や、4月に開催された経済産業省主催の専門家会議でも論議され、年内の改善は難しいことが想定されています。

特に東京港は五輪・パラリンピック開催による特殊事情も重なり、CSAが予定している10月のコンテナ確保・確約の見通しがつかない事態となりました。

このような現状と支援者（団体・個人）の事前準備や海上輸送の不確実性等を総合的に勘案し、2021年10月集荷の「第37次救援衣類を送る運動」は、「再延期」と致します。

尚、小学校建設補修、高校生寮支援は継続的に推進します。

#### 2. 救援衣類再延期に伴う代替支援について

タイ・ラオスの担当省とは、救援（中古）衣類の輸送中止連絡と共に、両国で衣類の配布を予定していた支援が必要な人々に、CSAの現地コーディネーター等と連携し、当該国内でマスクを調達し配布する支援等を、代替的な対応として実施予定です。





## 2021.07.02 サンティパープ高校生寮へ卒業記念品とマスクを寄贈



▶ 寮玄関で集合写真



▶ メッセージを代読するコーディネーター



▶ 寮内ホールで卒業生グループ

ラオス・サンティパープ高校CSA寮の卒業生への記念品と寮生全員にマスクを寄贈しました。

ラオス北部のルアンプラバン県、世界遺産でも知られるこの町にサンティパープ高校があります。この高校にCSAは、2002年寮を建設・寄贈し、現在も寮生の食費等の支援を行っています。

優秀な学力を有した生徒でありながら、貧困や遠隔地等の理由で進学をあきらめていた生徒の為に、学習意欲のある若者の救済を目的として、男子・女子とも入居可能で、食事の提供も可能な寮をラオスの教育省からの要請もあり、CSAが建設し運営の支援を継続しています。

例年CSAは卒寮式に出席し、生徒たちとの交流と先生との意見交換を行っていますが、昨年今年とラオスはロックダウンにより入国は不可能となった為、全寮生へマスクと卒寮生への記念品、さらに全国試験優秀者へ優秀賞を6月に送りました。

CSAからのメッセージとともに記念品は、第1期卒寮生で現在CSAのラオス協力者であるヌーソン氏から卒業生に渡して頂き、祝辞を代読して頂きました。





## 2021.07.19 パチャオ村小学校フェンス設置工事現地レポート届く



▶ブロック積上準備



▶鉄筋等納入



▶フェンス設置開始

ラオス・パチャオ村小学校のフェンス及び校門の設置・補修工事の現地レポートが、CSAラオスコーディネーターから届きました。

5月21日既報のとおり同校はラオスへのCSA23番目校としてカネボウ労働組合の寄贈校としてラオス北部の山間部に2011年建設されました。風光明媚なこの地においても新型コロナウイルスの影響は及んでおり、ラオスにおけるロックダウンが4月下旬から繰り返し発令され、工事日程も大幅に遅れざるを得ませんでした。この度のレポートでようやく工事に必要な物資も届き、少しずつですが着実に進んでいるとの報告を受けました。

ラオスは国内の製造・生産品が非常に乏しく、基本的に生活する上で多くの品々は海外からの輸入品で成り立っている現実があります。コロナ禍により資材調達の遅れと、さらに現在は雨期の最中でもあり工事の進捗もスローペースとなっていますが、着実な工事をCSA事務所と現地コーディネーターと緊密に連絡とりながら進めてまいります。



## 2021.08.02 サンティパープ高校生寮の 水回りリフォーム工事が完了しました



▶ 新設のトイレ、シャワー、洗面所



▶ 寮のシャワー・トイレ棟

CSAは2002年ラオス・ルアンプラバンにある国内有数の優秀校であるサンティパープ高校の敷地内に寮を建設しました。寮建設の目的は、成績優秀な中学生の中に、遠隔地や貧しい等の理由で進学を断念せざるを得ない生徒の救済でした。寮建設から現在も、継続して90名の寮生の支援を行っています。

2021年2月既報のとおり、この高校の所在地が世界遺産に登録されていることもあり、昨年日本の環境省によるアジア水環境改善モデル事業の一環で調査が行われました。その状況報告がCSAに入り、寮のシャワー・洗面所・トイレの修理が必要であることが分かりました。3月のCSA評議員会において報告し、早期の修理を実施することを確認し、その後現地CSAコーディネーター等と連携して対応してまいりました。

ラオスは4月以降ロックダウンが長期化し、工事も遅れがちでしたが、このたび工事の完了連絡が入りました。写真も届きましたのでご覧ください。



## 2021.09.03 日本在住ベトナム人協会と在日カンボジアコミュニティへ 不織布マスクを寄贈



▶ CSA事務所に届いたマスク ▶▶



▶ CSAシールを貼付けて発送 ▶▶

日本における新型コロナウイルスの感染拡大は、デルタ株の感染拡大等により、感染防止対策は必須で長期化の様相を呈しています。この影響により現在の日本国内の経済情勢は一部の業種を除き、総じてコロナの影響による難題に直面していると言えます。特に飲食や宿泊に関係する企業の多くが大変厳しい状況にあり、そこで働く人々の雇用問題も頻発しています。特に日本に永住している多くの外国人、特にアジア諸国から日本で生活している人々の中には、これまでにない経済的な困窮に喘いでいる多くの人々の声がCSAにも届きました。

このような状況の中で、これまで情報交換を継続的に実施している日本在住ベトナム人協会と在日カンボジアコミュニティへ不織布マスクを寄贈しました。マスクは普通サイズと女性や子供達にも使いやすいように「小さめ」サイズを総数 30,000 枚寄贈しました。両団体から感謝のメッセージと改めて配布の報告をしますとの連絡を受けました。